

第一日 3月22日（月）

☆：優秀学生賞の審査対象

	A会場（優秀学生賞審査対象）	B会場
10:00～11:00	座長：金井源太 （農研機構東北農業研究センター）	座長：河合義隆 （東京農業大学）
10:00～10:15	A01 ☆ 不耕起とカバークロップの組み合わせによる 脱炭素型農作業システムの評価 ○箕穎婷・李沛然（東京農工大学）・西脇淳子・ 坂上伸生・盧文藝・小松崎将一（茨城大学）	B01 中型哺乳類を対象とした被害対策技術のリン ゴ省力栽培体系への適応性検証－被害対策 資材取付位置への作業者の干渉と着果高の 影響－ ○中村大輔・藤本竜輔・岩波宏・小坂井千夏・ 竹内正彦（農研機構）
10:15～10:30	A02 ☆ 原料及び加圧熱水処理条件の違いが作物残 渣中養分の抽出に及ぼす影響 ○櫻井俊輔・中村泰彰・東城清秀・帖佐直（東 京農工大学）	B02 新潟県におけるイチゴの高設栽培においてク ラウン局所加温が生育に及ぼす影響の解析 ○伊藤崇浩・佐藤根妃奈・趙鉄軍（新潟食 料農業大学）
10:30～10:45	A03 ☆ 耕うん同時通気性試験装置の開発－通気性 指数の利用－ ○八島巴美・田島淳・實野雅太（東京農業 大学）	B03 深度センサを用いたイチゴの水ストレス応答 計測 ○岡山毅・古谷駿介・西脇淳子・望月佑哉（茨 大農）
10:45～11:00	総合討論	総合討論

	A会場（優秀学生賞審査対象）	B会場
11:00～12:00	座長：深見公一郎 （農研機構九州沖縄農業研究センター）	座長：五十嵐大造 （東京農業大学）
11:00～11:15	A04 ☆ 植調剤を利用した大粒ブルーベリー生産にお ける摘芽および摘果の効果と作業性の検討 ○松橋凜歩（東京農業大院）・宮崎珠未・河 合義隆・藤澤弘幸（東京農業大）	B04 陸稲栽培での耕うん方法および稲わらマルチ の有無が生育・収量に及ぼす影響 ○西川ななみ・小松崎将一（茨城大）
11:15～11:30	A05 ☆ ヘアリーベッチ残渣におけるシアナミドの分 解の温度依存性と窒素動態に及ぼす影響 ○内林大志（北大環学院）・平田聡之（北大 FSC）・松村篤（大府大生命環境）	B05 マルチ栽培タマネギに対応した収穫機械化 体系の開発 ○齋藤秀文（農研機構）
11:30～11:45	A06 ☆ Detection of VOC increase by trampling and mowing creeping thyme ○ Bienvenu Biramahire・Tadashi Chosa・ Seishu Tojo（東京農工大学）	B06 砂丘地でのアスパラガス根株生産におけるマ ルチと灌水の効果 ○荒木肇・伊藤崇浩（新潟食料農業大学）
11:45～12:00	総合討論	総合討論
13:00～14:30	総会・学会賞授与・講演	

	A会場（優秀学生賞審査対象）	B会場
15:00～16:15	座長：国立卓生 （農研機構西日本農業研究センター）	座長：佐々木豊 （農研機構九州沖縄農業研究センター）
15:00～15:15	A07 ☆ 太陽光植物工場におけるマルチオペレーションロボットの開発－トマト収穫用エンドエフェクタによる果柄離脱方法の検討－ ○大畑秀平・上加裕子（愛媛大学大学院農学研究科）・有馬誠一（愛媛大学植物工場研究センター）	B07 重粘土水田転換畑における籾殻焼却灰を疎水材とした補助暗渠施工機の改良 ○関矢博幸（中央農研）
15:15～15:30	A08 ☆ A Photogrammetric Observation of Weed Cutting Performance of a Robotic Lawnmower in a Narrow Space Between Tree Rows at a Japanese Pear Orchard ○ Muhammad Zakaria Hossain（United Graduate School of Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology）・Shoji Watanabe・Masakazu Komatsuzaki（Ibaraki University）	B08 Soil Properties under No-Tillage Practice in the Tomato Productions ○ Ratih Kemala Dewi（Tokyo University of Agriculture and Technology）・Masatake Fukuda・Naoya Takashima・Masakazu Komatsuzaki（Ibaraki University）
15:30～15:45	A09 ☆ 中山間地域における耕作放棄地の適正管理に関する研究－ロボット芝刈機利用の可能性－ ○谷田部仁美・田島淳・清原航（東京農業大学）	B09 土壌水分と土壌温度が収穫時のバレイショ打撲に及ぼす影響 ○興水美奈・土屋史紀・吉田光希・赤井浩太郎（農研機構・北農研）・長濱修（JA めむろ）
15:45～16:00	A10 ☆ 規模拡大を目指す中山間地域稲作経営体の畦畔管理作業の実態と効率化の検討 ○梶尾未来・倉田祐輔・渡邊修・浜野充（信州大学農学部）	B10 収穫後のバレイショ塊茎の乾燥状態が打撲に及ぼす影響 ○興水美奈・赤井浩太郎（農研機構・北農研）
16:00～16:15	総合討論	総合討論

	A会場	B会場	C会場
11:00~12:15	<p>座長：嘉見大助 (農研機構北海道農業研究センター)</p>	<p>座長：上地由朗 (東京農業大学)</p>	<p>座長：澁谷幸憲 (農研機構北海道農業研究センター)</p>
11:00~11:15	<p>A11 秋作ヘアリーベッチが冬期の土壌内窒素環境と雑草の萌芽に及ぼす影響 ○平田聡之(北大FSC)・内林大志(北大環境院)・松村篤(大府大生命環境)</p>	<p>B11 歩行型1輪2条田植機の乗用化への改良および走行・植付性能評価 ○窪田陽介(福島大)・庄司浩一・村山知彦(神戸大)・渡邊芳倫(福島大)・焼山博次(大阪府)</p>	<p>C01 分散錯圃のハス田地帯における農薬散布ドローン防除の作業性 ○国立卓生(農研機構)・篠原啓子・村井恒治・圓藤勝義(徳島農総セ)</p>
11:15~11:30	<p>A12 大麦リビングマルチを導入したダイズ圃場におけるゴミムシ類の個体数消長とリビングマルチ区に対する選好性について ○本林隆・関口悠人・服部滉平(東京農工大学FSセンター)</p>	<p>B12 北海道の大区画水田における水稲高密度播種苗導入による移植作業の効率化 ○吉田邦彦・石井耕太・稲野一郎・松本匡祐・吉田裕介・山田洋文・白井康裕(道総研中央農試)・毛利通孝・鈴木益夫・川田裕之(ヤンマーアグリジャパン株式会社)・林新悟(生産者)</p>	<p>C02 Comparison of UAV photogrammetry model accuracy using DGNSS and RTK-GNSS in a paddy field ○Yenyi Lu・Masakazu Komatsuzaki・Tsuyoshi Okayama・Takushi Matsuoka・Yuta Satoh(Ibaraki Univ.)</p>
11:30~11:45	<p>A13 営農再開を待機する除染後農地において長期間の省力的な保全管理が雑草植生に及ぼす影響 ○好野奈美子(農研機構)</p>	<p>B13 リモコン草刈機による水田法面除草の作業能率、作業可能条件、疲労度 ○白土宏之・古畑昌巳・笹原和哉・今須宏美・川名義明・伊藤景子(農研機構東北農業研究センター)</p>	<p>C03 ドローンセンシングによる加工・業務用ホウレンソウの収量推定手法の検討 ○落合将暉・石井孝典・鎌田えりか(農研機構九州沖縄農業研究センター)</p>
11:45~12:00	<p>A14 ウキクサをマルチとして活用した際の窒素施用量と水深の差が水稻の生育収量に及ぼす影響 ○陶武利(東京農工大)・小松崎将一(茨城大)</p>	<p>B14 水田畦畔の角度・面積・畦畔率の算出方法の開発：地理情報システム・精密標高モデル(DEM)の活用事例 ○浜野充・木滝勇一朗・倉田祐輔・渡邊修(信州大学農学部)</p>	<p>C04 RTK-GNSSドローンを用いた人口密集地の農用施設や敷地地形の計測方法 ○官森林・中野恵子・高橋仁康・山崎篤・赤星光男(九州農研)</p>
12:00~12:15	総合討論	総合討論	総合討論

	A会場	B会場	C会場
13:30~14:45	座長：荒木肇 (新潟食料農業大学)	座長：上加裕子 (愛媛大学)	座長：天羽弘一 (農研機構農業技術革新工学 研究センター)
13:30~13:45	A15 Cover crop decomposition rate difference between no-tillage and moldboard plowing in relation to biochar application ○ Qiliang Huang (Ibaraki University)・Yingting Gong・ Peiran Li (TUAT)・ Masakazu Komatsuzaki (Ibaraki University)	B15 スナツパヘッダに換装した国 産コンバインによる高水分収 穫 ○金井源太・篠遠善哉(農研 機構)	C05 車両系農作業ロボットの安 全性確保のための技術要件 の検討ー乗用トラクタによる ほ場進入路出入り時のリス ク検証 ○菊池豊・梅野覚・田中正 浩(農研機構革新工学セン ター)・松島健一・宮本輝仁 (農研機構農村工学部門)
13:45~14:00	A16 Changes of Soil Chemical and Physical Parameter in the relation to the use of Cover Crops in Greenhouse Vegetables Production ○ Li Zhenrui・ Komatsuzaki Masakazu (Ibaraki University)・ Ryoma Saito (i-Agri Crop.)	B16 薬用作物の機械収穫技術の 開発と評価 ○澁谷幸憲・藤田直聡・村 上則幸(農研機構北農研)・ 五十嵐元子(医薬健栄研・薬 植セ・薬植セ・薬植セ・薬植 セ)・菱田敦之(東農大農)	C06 スマート農業時代に即した農 作業の労働評価についての提 案 ○佐々木豊・高橋仁康(農研 機構九州沖縄農業研究セン ター)
14:00~14:15	A17 ロボット芝刈機と根部エンド ファイトの利用によるミニト マトの新しい不耕起草生・有 機栽培技術の検討 ○福田真丈・高嶋尚哉・野口 愛・松浦江里・成澤才彦・坂 上伸生・小松崎将一(茨城大 学農学部)	B17 カボチャ果柄剪定鋏の改良に よる作業の省力化 ○嘉見大助・杉山慶太(農研 機構・北農研)	C07 移動軌跡を利用した作業評価 手法に関する研究(第4報) ーロボットトラクタによる同 時作業の評価方法ー ○建石邦夫(農研機構)・古 渡拳人(茨城県農業研究所)
14:15~14:30	A18 キャベツの単作・間作間にお ける品質および虫害について ○渡辺翔史・岡山毅・小松崎 将一・Wenyi Lu(茨城大学)	B18 サツマイモ植付け後のピンチ 作業が生育・収量に及ぼす効 果の検証 ○深見公一郎・岡田吉弘・官 森林・高橋仁康(九沖農研)	C08 農作業における負荷評価・緊 急連絡システムの開発 ○佐藤弘之・松井正実(宇都 宮大学)
14:30~14:45	総合討論	総合討論	総合討論

	A 会場	B 会場	C 会場
15:00~16:15	座長：建石邦夫 (農研機構中央農業研究センター)	座長：齋藤秀文 (農研機構東北農業研究センター)	座長：窪田陽介 (福島大学)
15:00~15:15	A19 ヒマワリとソバの輪作による生産性改善 ○小松崎将一・綿引彩華・鈴木理聖 (茨城大学農学部)	B19 散水システムが園芸施設への虫の侵入防止に及ぼす効果について ○高垣美智子・任暁偉・庄雲飛・曾玉蘭・魯娜 (千葉大)・堀田博之 (ダイセン・メンブレイン・システムズ)	C09 ベトナム紅河デルタ地域の稲作の技術動向についての考察 ○帖佐直・井上双葉・Ngo Thi Hien・東城清秀 (東京農工大学)・Nguyen Thanh Hai (ベトナム農業大学)
15:15~15:30	A20 中山間地域農業における電気軽トラック利用の可能性 GISを用いた消費電力量推定 (第2報) ○田島淳・中村倭 (東京農工大学)・坂巻光洋 (スガノ農機)	B20 光位置検出素子を用いたブームスプレーヤの散布高さ検出装置の開発：畑作物の葉面に対する測距特性と干渉距離の測定 ○藤本与・佐藤禎稔 (帯広畜産大学)	C10 生分解性素材と微生物燃焼を応用した動物伝染病対策の研究－超高温細菌を利用した安全な大量処理－ 長谷川克也 (宇宙航空研究開発機構)・○金澤聡子 (株式会社金澤バイオ研究所)
15:30~15:45	A21 傾斜地果樹園で利用可能な電動作業台車兼運搬車の開発 ○飯田賢一・柳澤佑太・松浦亮太・大谷真弘・芦原佑樹・岩田大志・土井滋貴・中村篤人・福岡寛・須田敦 (奈良高専)・安藤正明 (奈良県農業研究開発センター)・笹岡元信 (三晃精機)	B21 ドローンを活用したゾウムシ類防除における農薬散布特性の検証 ○深見公一郎・市瀬克也・吉武啓・岡田吉弘・高橋仁康・官森林 (九沖農研)	C11 The behavior of radiocesium in soil under different tillage systems 8 years after the FDNPP accident ○ Li Peiran・Gong Yingting (Tokyo University of Agriculture and Technology)・Komatsuzaki Masakazu (Ibaraki University)
15:45~16:00	A22 廃棄食品由来のメタン発酵残渣の有効利用に関する研究 ○ヌルサンティ (茨城大学大学院)・犬伏琉華・小松崎将一 (茨城大学農学部)	B22 防除時のトラクタ走行がバレイシヨの収量・品質・夾雑物に及ぼす影響 ○辻博之・津田昌吾 (農研機構)・北農研)・今田伸二 (JA鹿追)	C12 海外における農作業事故事例の分析と対応策の検討 ○酒井洗輝・松井正実 (宇都宮大学)
16:00~16:15	総合討論	総合討論	総合討論